

2020年度の事業報告書

(2020年4月1日から2021年3月31日)

特定非営利活動法人いちかわ市民文化ネットワーク

1 事業の成果

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、放課後等デイサービス部門・舞台芸術制作部門、両部門ともに厳しい一年となり、同時に福祉・芸術を主な活動とする当法人の存在理由を問われる一年ともなった。

2020年度開設7年目となった「放課後等デイサービス・ハクナマタタ」は、中高生の知的障がい児童を対象に、食育・アート・運動・外部講師による文化活動などを通じて障がい児の楽しく豊かで安心できる芸術的居場所となっている。利用契約者35名(アクティブユーザー28名)在籍。緊急事態宣言下の4月～6月間は来所者が半減したが、宣言解除後の7月以降は順調に回復し、利用定員である10名に近い数字に推移した。特に感染予防策には力を入れ、保護者面談を書面でのやり取りへの変更や例年開催していた「さんさんフェスティバル」の中止、利用者受入時の健康チェック・検温・手洗い・消毒の実施、またマスク着用の難しい子の為の透明パーテーションの設置や施設内・送迎車の毎日の消毒や換気の実施など、衛生面に注意しながら運営を継続し、利用者とその家族をこれまで以上に応援する事ができた。

2020年度開設5年目となった「スペースにわにわ」は、存在が広く知れ渡り、市民活動の創造と交流の拠点として活用されている。しかしコロナ禍の影響で運営の維持が困難な状況となり、維持のために新しい事業の展開を試みる一方で、事務局担当者の低額報酬での仕事過重という疲弊状態が続いている。2021年度内には業績回復・従業員の労働環境の改善の対策を講じたい。

チャレンジド・ミュージカルは、事業の取り組みが評価され、令和2年度「障害者の生涯学習支援活動」にかかる文部大臣科学大臣表彰を受賞。今後も芸術文化を通して、障がいのある人たちの社会参加と社会貢献を促進したい。

2020年度の新事業「市民舞台スタッフ養成講座2020」は途中からオンラインに切り替えたものの受講生の熱意は衰えることなく、また熱心な講師の指導もあり、最後まで実施することができた。

「おいで！だいじょうぶだよ！からだ遊びワークショップ2020」もオンライン活動に切り替え活動を継続。新しいオンライン活動の可能性に挑戦した。

「いちミュージック」「いちぶん日舞教室」「いるんおるん」は感染予防に注意しながら活動を継続。コロナ禍の中での貴重な交流の場となった。

「消費者啓発劇団コントdeゲキ隊！」「ママパパちゃれゆるcafe」は感染予防のため、活動を中止。

「子ども茶道教室・日舞教室」は、茶道教室は感染予防が難しいと判断し中止し、日舞教室のみ開催した。活動を縮小しながらも日本文化に関心を持ってもらえる場となった。

その他「緊急支援事業」として障がい児・者を対象とした、コロナ禍のストレスを解放するためのサロンを提供し、癒しの場となった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
①児童福祉法に基づく放課後等児童デイサービス事業						
放課後等デイサービス・ハクナマタタ	障がい児(中高生対象)の放課後の学びといちぶんネットならではのカリキュラムを用いて、芸術文化活動を楽しむ場を確保する。	通年 毎週月～金 (除く祭日)	法人事務所	9名(常勤者3名+パート6名)	障がいを持つ中高生(各日平均10名利用) 通算2400名	19,703
②市民による文化芸術に関する活動、普及および支援						
スペースにわにわの運営	創造、交流、イベント、居場所、カフェ、稽古場等の市民活動の創造と交流拠点の運営	通年	スペースにわにわ	2名	利用者通算4320名	5,631

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
チャレンジド・ミュージカル (1) 劇団「JAMBO!」出前公演	休日を利用して、首都圏内各地に「日帰り出張公演」を実施。芸術文化活動を通して障がいのある人たちの社会参加と社会貢献を促進する。	公演中止	出前公演活動はオンライン（zoom）を使つての取り組みに挑戦した。	2名	劇団員42名	121
チャレンジド・ミュージカル (2) 「おいでだいじょうぶだよ！」からだ遊びワークショップ2020	身体表現の楽しさを味わってもらふ初歩的ワークショップ	2020年10月4日～2021年2月27日	須和田の丘支援学校 やまぶき園 市内公民館 途中からオンライン活動に切り替え	スタッフ サポーター 10名	参加者 1日40名	269
市民舞台スタッフ養成講座 2020	専門家の指導の下、市民による照明・音響・ステージング技術者の養成を図り、市民芸術文化活動に積極的に寄与できる人材の育成をめざす。	2020年10月7日～2021年2月27日 週1回 夜間開催	スペースにわにわ 須和田の丘支援学校 市内公民館 途中からオンラインに切り替え	指導員4名	参加者 高校生～大人 15名	950
いちミューキッズ	小さな子どもと家族の芸術活動推進と子育て支援を目的とした舞台芸術ワークショップ。	(春) 開催中止 (夏) 8/4～8/30 計8回 (冬) 1/24～2/27 計12回	(夏) スペースにわにわ 他 (冬) スペースにわにわ オンライン開催	各日2名	参加者 乳幼児～小学生とその家族 延べ人数83名	107
子ども茶道教室・日舞教室	伝統文化を楽しみながら、地域と生活と自己への新しい発見に期待する教室	(茶道) 開催中止 (日舞) 8/18～11/3 (全9回) 発表会 11/8	(茶道) 開催中止 (日舞) スペースにわにわ	(茶道) 開催中止 (日舞) 1名	小1～中学生 (茶道) 開催中止 (日舞) 6名	119
消費者啓発劇団 「コントdeげき隊！」2020	蔓延する消費者詐欺防止を啓発するため、コントを作成し、県内各地の県民講座並びに自治会、イベント、公民館行事などで上演する。新テーマに「高齢者虐待防止」も取り上げる。	活動中止	活動中止	活動中止	活動中止	0
いちぶん日舞教室	日本舞踊の初歩を学ぶ。日本舞踊の基礎講習。	毎月2回・火曜 4～6月はコロナウイルス感染予防のため開催中止。 7月より開催	スペースにわにわ	各日2名	参加者 各日11名	240

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
いるんおるん	働く障がい青年のための癒しと交流カフェ	5/13～3/31 (4月は感染予防のため中止し、別月に振替) 年24回開催	スペースにわにわ	スタッフ 3名	参加者 1日平均8名	90
ママパパちやれゆるcafé	子育て中の親が、自分のスキルをいかすための交流の場。地域とのつながりをつくる。	活動中止	活動中止	活動中止	活動中止	0
HONGERA! まちなかアート展	障がい者の自己啓発と社会参加を促進する目的で、まちづくり事業と連携し市内商店街各店に障がいのある人たちの芸術作品を展示する。	(EDOROCK MUSIC & ART FESTIVAL) 参加 11/3 (KUGURU展) 参加 2021/3/8～4/11	(EDOROCK MUSIC & ART FESTIVAL) スペースにわにわ (KUGURU展) 市川市内	スタッフ 2名	障がいを持つ芸術に興味のある方	0
緊急事業 A 閉じ籠りがちな障がい児・者とその家族のストレスを開放するスペースと相談を提供する事業	学校や施設が閉鎖された障がい児・者と家族をストレスから解放するために、スペースにわにわを使って、癒しの場を設定する。	5/18～6/29 週3回(月水木) 計16回	スペースにわにわ	スタッフ 2名	障がい者とその家族 延べ48名	25
緊急事業 B 閉じ籠りがちな障がい児・者とその家族のストレスを開放するスペースと相談を提供する事業	学校や施設が閉鎖された障がい児・者と家族をストレスから解放するために、スペースにわにわを使って、癒しの場を設定する。	7/1～10/29 月水木 計43回	スペースにわにわ	スタッフ 2名	障がい者とその家族 延べ129名	66
③広報および出版物の発行						
広報誌「いちぶん通信」の発行(会の活動広報、情報公開)	年3回発行			1名	各200部	0
ホームページの公開・更新(活動情報の提供)	HPの積極利用			2名		0
SNSを使用した広報	Facebookの積極利用			2名		0

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
④行政、諸団体との協働およびネットワークづくり						
いちかわ市民ミュージカル第10回記念公演	市川市内のさまざまな市民文化サークルの活動の交流と創造を支援する 市民文化サークルの祭典・合同発表会	開催中止	開催中止	開催中止	開催中止	0
第7回いちみュー文化祭	さまざまな市民サークルの祭典・合同発表会。 「相互に観合って批評し合う」「優秀3賞授与」の実施	開催中止	開催中止	開催中止	開催中止	
4. 赤レンガをいかす会事務局担当	旧千葉県血清研究所跡地にある赤レンガ建築物と施設の有効保存を図る活動を推進する。 啓発広報活動	通年	旧千葉県血清研究所			
5. 市川市民サークル活動支援事業	コーラス水の輪・シニア劇波瀾ばんばん座・劇団ポラーノ・市川邦楽連盟・ダンス集団おやじdeソレイユ・SHIZUKUなど、要請のあった市民サークル活動を様々な形で支援。	通年		スタッフ2名		
※協働・ネットワーク事業の事業費は、「スペースにわにわの運営費」に含む。					合計	27,321